

## 平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 愛知県豊田市立土橋小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒 471 - 0842  
豊田市土橋町 6 丁目 1 1 7 番地

E-mail s-tsuchihashi@toyota.ed.jp

Website www2.toyota.ed.jp/swas/index.php?id=s\_tsuchihashi

児童生徒数 男子 181 名 女子 164 名 合計 345 名  
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ア 自然、地域を愛する豊かな心を育てる活動

自然と十分に触れ合い、そこに生きているものの命を感じ取る。また、町の人と関わることで自分たちの町のよさに気付く。これらを通して子どもの豊かな心の育成を図ることができた。

- ・「学校大好きしぜんとなかよし」(1年) 「しぜん大すき土橋大好き」(2年)

五感を通して自然と触れ合った。1年生は主に植物、2年生は主に昆虫や小動物と関わるのが大好きになった。

- ・「土はしはすてきがいっぱい」(2年)

町探検を通して地域の人から学んだ。生き物や草花等の自然に目を向けることや、地域の多くの人々や場所に支えられてつながっていることを感じる事ができた。

#### イ 責任をもって管理する活動

3、4年生は学校の樹木や自然観察池などの管理を行う。その維持管理や広報活動を通して直面した様々な問題を、協力して解決する活動を行った。

- ・ビオトープ及び三つの池を管理する「土橋生き物たんけんたい」(3年)

本校の恵まれた自然環境を活用して、三つの池を生き物にとってよりよい環境にしていこうと活動した。専門家の話を聞いたり自分たちで調べたりすることで、子どもたちが自ら自然に働きかけていこうとする気持ちを高めることができた。

- ・「プールのヤゴ救出大作戦」(3年)

プールのヤゴを助けトンボになり、自然に帰すことを通して、自分でもできることを体験しながら自然に関する関心を育てることができた。

- ・校内の樹木を管理する「この木 何の木 気になる木」(4年)

防音・遮蔽・空気清浄化など、樹木には様々な役割があることを学び、それらを検証した。植樹してくれた地域の人へ感謝するとともに、樹木の未来を考え、自分たちでできる活動を進めた。

- ・緑のカーテンを管理する「緑のカーテンプロジェクト」(4年)

渡り廊下と、1年生教室前にセイヨウアサガオを利用した緑のカーテンを作った。施肥、蔓の誘引や剪定なども子どもたちが行き、緑のカーテンを育てていった。毎日世話を続け、見事な緑のカーテンを作ることができた。

#### ウ 校舎から省エネを学ぶ活動

- ・データを集め、省エネを学ぶ(5年)

環境に配慮された校舎から、自ら問題意識をもち、それを解決していく。説得力のある説明には『写真や図』『具体的な数値』『やって見せること』などが必要であることを知り、検証方法を考えたりデータ収集をしたりする。この活動を通して、「省エネは我慢することではなく、快適に過ごすために工夫すること」を学ぶことができた。

- ・エコガイド「目指せエコガイド～未来を変える学び合い～」(6年)

これまでの学びをエコガイドという形で発信していく。外部からの視察者や保護者、地域の人々にエコガイドを行うことを通して、子どもたちのプレゼンテーションの力を高めるとともに、環境に配慮した望ましい働きかけを地域や社会にしたいという心を行動へとつなげることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）